

沢登りであった。

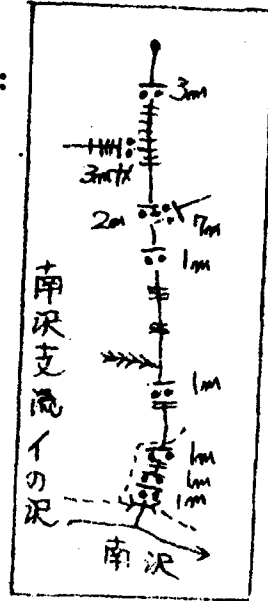
( )

[タイム] 山本不動尊(6:05)→イの沢出合(6:20)→終了(6:40)

### 南沢支流口の沢

1988年9月17日

9:10南沢支流口の沢(仮称)の遡行開始。この沢は、他の南沢流域の支沢とちがって、伐採跡地を流れる明るい沢である。伐採跡地を流れる沢というものは、部分的にブッシュが茂ってきているのが難点である。この沢も例外ではなく、それほどひどいわけではなかったが、一部ヤブをわけながらの遡行となった。

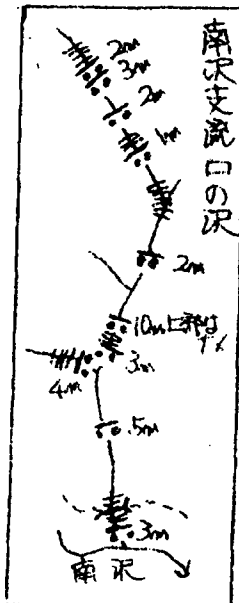


出合から少し遡ったところで、5mの滝。右岸を直登するが、ホールド豊富で、どこからでも登れる。そのあとしばらくで、今度は10mの滝である。左岸を登り、中ほどで沢身に移り、ナメ状となった上部は右岸を登る。この沢のハイライトは、この2つの滝で、あとは平凡となった。

小滝を越えながら進むと、やがて樹林帯に入る。するとすぐに沢は終わりとなってしまう。遡行終了9:40。

(?)

[タイム] 口の沢出合(9:10)→終了(9:40)



### 南沢支流ハの沢右俣、中俣、左俣

1988年9月17日

南沢本流にかかる砂防ダムのすぐ下流で合流しているのがハの沢(仮称)である。7:00遡行開始。出合からナメを少し遡ると、やがて7mの滝。ナメ状でホールドは豊富。左岸を楽に直登するが、なかなか幸先が良い。

つづく2m滝を越えると、水量が減少した。滝を越えるごとに水量が減少するのが、この沢の特徴のようで、この先も